



玄関ホールを兼ねた廊下にも、リビングと同じラスタックパーチの無垢フローリングが張られている

ショールームで再認識した、無垢材の感触

約400坪の敷地の前は広大な畑、裏手には小川の流れ。5月に完成した、こげ茶の板葺きの住まいに一歩足を踏み入れると、外壁と同じ色調のラスタックパーチの無垢フローリングが敷き詰められた床が迎えてくれます。リビングの大開口には、美しい田園風景と大きな空が絵のように、「転動を機に住んだ中札内村の自然豊かで長閑な環境が気に入って、新築を決意。十勝の自然を五感で楽しめる新居を実現したいと、じっくりとプランを練りました」と、門屋祐二さん。

木の質感を生かした家づくりの決め手になったのが、無垢材の床。「でも、無垢は高いし、扱いにくいからダメという会社もありました。地元の施工会社を選ぶ際も、無垢材を扱えるかどうかで決めることに。その一方で、施工支給も視野に入れ、独自に調査。」すると、北海道ではシーゲルさんしか専門店がないことが分かりました。たまたまリプランでシーゲルさんの広告を見たら、9月下旬から2カ月間開催されていた、シーゲル札幌ショールームとリプランの共同企画「シーゲル札幌ショールームオープン一周年記念・無垢フローリングプレゼント」のキャンペーンの告知があって、見た瞬間「うちの床だ」と思っちゃったんですよ。門屋さんはいってもたってもいられず、休日に応募書類を持参で札幌まで車を走らせました。

「ショールームまで行って正解でした。想像以上に肌触りがよく歩きやすく、温かくて。無垢といえばパイン材しか知りませんでしたから、いろんな材があって、張り方もバラエティに富んでいることにも驚きました。スタッフの親切で丁寧な説明も気に入りました。後は、本当に当たるのを願うばかりでした」



「シーゲルさんとの運命的な出会いで、理想のわが家を実現できました」と、門屋さんご夫妻



右/内装やインテリアも、床の質感、色調と合わせ、白とこげ茶で統一。ナチュラルな空間とピクチャウィンドウに映る四季の田園風景が見事なハーモニーを奏でる
上/無垢フローリングにこだわり「木の質感を生かした住まい」をカタチにした新居、リビングはご夫妻のお気に入りのおつるぎ空間



家族の思い出を刻むメモリアル・フローリング

新築やリフォームの良い思い出になるとファミリーに好評なシーゲル・オリジナルの「メモリアル・フローリング」。工場直販ならではのサービスともいえ、10坪以上のご使用で、家族全員の名前や年齢、落成年月日など、好きな言葉が刻印された1枚をプレゼント、お好きな場所に張ることができます。門屋邸では、玄関ホールに張られ、訪れたゲストを迎えています。

「欲を言えばきりがありませんが、今の自分たちにとっては理想以上の家になり、大満足。近々、メンテ用のオイルを買いにまたショールームへ出かけるつもりです。リニューアルされているようなので、それを見るのも楽しみです」と門屋さん。この暮れには、ご夫妻に待望の赤ちゃんが生まれる予定です。温かな木の床には家族のさまざまな歴史が刻まれ、さらに味わい豊かな住まいに育っていくことでしょう。」

家づくりの要は一番肌に触れる床

やがて幸運の確信は、現実のものに。強い思いが通じて、当選者となった門屋さんは、詳細を打ち合わせるため、再びショールームを訪ねました。そして、本格的な家づくりに取り組みました。ところが、無垢フローリングの施工を快諾してくれた会社には実績もノウハウがありませんでした。シーゲルさんは、施工方法などの相談にもきめ細かく対応してくれました。そういう部分でも、専門店には心強いですね。

完成した新居は、木造2階建て。広い敷地を生かして、生活の中心となるLDKや水まわり、寝室は1階にレイアウト。そして、念願の無垢フローリングをプレゼント分の20坪に加え、予算の許す範囲で追加注文し、主寝室を除いた1階のすべての床に張りました。「長年、腰痛に悩まされてきましたが、足触りの温かな無垢の床は、適度な柔らかさも備えていて、腰にも響かないんですね。窓と同じくらい床を真剣に選んで、大正解でした」と、奥さん。新居に遊びに来た甥御さんも、やさしい感触の床が大のお気に入り。しきりに床に触れたがるのだそう。

専門店だからこそ実現できた
自然を肌で感じる理想のわが家

床。

写真/戸田 肇 文/森廣 広絵